

(様式2(1))

事業所名 グループホームしいの木荘

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 1 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者が地域社会とつながりながら、当たり前の暮らしを続けられるよう、事業所自体が、地域の活動や交流に積極的に取り組む	・運営推進会議を有意義な場とし、地域と事業所がお互いに行事などの情報交換を行う ・ボランティアの積極的な受け入れを行ったり、地域の行事に参加をすることで交流を図る	・運営推進会議で事業所の行事の案内をし、地区へも発信する ・事業所周辺の散歩や買い物に出かける ・地区の行事に参加をする ・新規のボランティアを受け入れる	12ヶ月
2	26	利用者本位の生活の実践のため、介護計画書に本人や家族の要望を反映し、現状に即した計画の立案とケアの実践を図る	・認知症高齢者に対する知識やケア方法の共通理解を図る ・本人、家族の思いや要望を伺う機会を捉え、介護計画に反映し、プランにそったケアの実践に努める	・介護職員会議の場で、認知症に関する勉強会を実施する ・都度、利用者毎のケース検討会の機会をもつことでケアの統一を図る ・事業所の広報紙や行事案内の発送の際や面会の機会に家族から要望を伺うようにする	12ヶ月
3	49	利用者一人ひとりの日常生活を、また一日の過ごし方を再度見つめ直し、その日の希望にそった日常的な外出支援に取り組む	・利用者の生活歴の再確認や1日の過ごし方を見直し、積極的な社会参加をすることで尊厳の保持と生活の活性化につなげる ・外出支援を増やし、外に出かける機会を作り、気分転換と日常生活の充実を図る	・利用者一人ひとりの要望を伺いながら、随時の気軽な外出の機会を増やす ・花見や紅葉狩り等計画し、普段は行けない場所へ外出する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。